

## テーマ2 多様化する博物館の理念と制度—「対話と連携の博物館」の総括(2)

昨年度、大阪市立自然史博物館において開催された、本テーマの第1回目の研究協議会においては、平成12年に「対話と連携の博物館」という指針が示された経緯と背景とともに、その後の十数年間における「対話と連携」の実践事例が報告され、地域の博物館を中心に、市民や博物館同士の連携や新たなネットワークが形成されつつある状況が確認された。その一方で、国や自治体の財政難が厳しさを増すなかで、博物館の運営形態の多様化が進む実態を踏まえ、博物館を取り巻く制度や法律に関しては、これからの長期的な視野の下に新たな指針の創出が急がれている実態も明らかになった。同時に博物館が機能を果たしていく中で、文書館、図書館、大学や産業などとの多様な連携(MALUI連携)や博物館を取り巻く市民コミュニティとの協働はますます重要性を帯びている。

このたびの研究協議会では、日博協が進めつつある「博物館登録制度の在り方に関する調査研究委員会」における議論の経過も紹介しつつ、将来の博物館に求められる新たな「対話と連携の博物館」を考えるために必要な、制度的基盤の在り方も含めた協議を行い、具体的な指針作りに資する議論を深める場としたい。

協力 東京都美術館  
日時 平成27年3月26日(木)、27日(金)  
会場 東京都美術館 講堂  
(所在地) 東京都台東区上野公園8-36  
(アクセス)

- ・JR上野駅、公園口改札より徒歩7分
- ・東京メトロ(銀座線・日比谷線)上野駅、7番出口より徒歩10分
- ・京成電鉄上野駅より徒歩10分

### 地図



## 日程

< 1 日目 > 3月26日 (木)

時 間	プログラム	内 容
12:30-	受付	
13:00-13:10	開会挨拶	日本博物館協会専務理事 半田 昌之
第1部 対話の基盤としての博物館の新経営形態をさぐる		
13:10-13:30	行政報告	「地方独立行政法人制度の見直しについて」 (調整中)
13:30-14:10	報告	「博物館登録制度の在り方に関する調査研究委員会」の議論経過 講師：山西 良平 氏 (大阪市立自然史博物館館長)
14:10-14:20	休憩	
第2部 新時代に求められる「MALUI」の対話と連携 司会：佐々木 秀彦 氏 (東京都美術館交流係長)		
14:20-14:50	報告	新しい公共空間としてのデジタルアーカイブ—世界の動向と日本の施策 (仮題) 講師：柳 与志夫 氏 (国立国会図書館電子情報部司書監)
14:50-15:20	報告	文化資源の情報化と発信—何から取り組むか (仮題) 講師：高野 明彦 氏 (国立情報学研究所教授)
15:20-15:50	報告	社会教育施設間における新たな対話と連携—館内ML連携とアウトリーチとしてのMULTI連携— (仮題) 講師：下湯 直樹 氏 (千代田区立日比谷図書文化館学芸員)
15:50-16:20	報告	新時代の博物館に必要な人材養成とは (仮題) 講師：浜田 弘明 氏 (桜美林大学教授)
16:20-17:30	討論	
18:15-20:00	情報交換会	東京都美術館1階レストラン「アイボリー」

< 2日目 > 3月27日(金)

時 間	プログラム	内 容
9:30-	受付	
第3部 社会との対話におけるミュージアムコミュニティの役割 司会：佐久間 大輔 氏 (大阪市立自然史博物館主任学芸員)		
9:40-10:10	事例報告	ミュージアムコミュニティをつくり、つなぐ。「ミュージアムスタートあいうえの」(仮題) 講師：伊藤 達矢 氏 (東京藝術大学特任助教)
10:10-10:40	事例報告	芸術文化による復興支援をどうすすめる？ 博物館と地域コミュニティとの連携(仮題) 講師：小林 めぐみ 氏 (福島県立博物館学芸員)
10:40-11:10	事例報告	ミュージアムコミュニティがつなぐ被災地と遠隔地(仮題) 講師：西澤 真樹子 氏 (大阪自然史センター)
11:10-11:30	討論	
11:30-11:40	休憩	
第4部 国際的な対話と連携へ向けて		
11:40-12:40	鼎談	ICOM 2019 に何を望むのか 日本博物館協会専務理事 半田 昌之+栗原 祐司 氏 (東京国立博物館総務部長) +五月女 賢司 氏 (吹田市立博物館主任学芸員)
12:40-12:50	閉会挨拶	
12:50	閉会	

◇情報交換会：参加者の皆様の情報交換、交流の場として開催いたします。ぜひご出席ください。

日時：平成27年3月26日(木) 18時15分～20時

会場：東京都美術館1階レストラン「アイボリー」

会費：4,000円

◇参加申込方法：別紙申込書にご記入のうえ、平成27年3月13日(金)までに、郵便またはFAXにて下記宛てにご送付ください。

公益財団法人日本博物館協会 研修係

(住所) 〒100-8925 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館

(FAX) 03-3591-7170

◇参加対象：主に博物館の館長、職員で本テーマに興味関心のある方

◇支払方法：下記の金額を郵便振替（00190-3-80123（公財）日本博物館協会）、または現金書留にて、平成27年3月13日（金）までにお支払いください。なお、送金にあたっては「**テーマ2**」と明記してください。

参加費	会 員	6,000円
	会員外	10,000円
情報交換会費	一 律	4,000円

◇宿泊

各自でお手配ください。

平成26年度研究協議会

テーマ2 多様化する博物館の理念と制度

—「対話と連携の博物館」の総括(2) 参加申込書

申込締切 平成27年3月13日(金)

氏名	
館園名 (所属)	
役職名	
情報交換会	出席・欠席
本研究協議会に期待されることや、興味のあるプログラム(どの館の報告に関心があるか)など、ご記入ください。	
参加費用	<p>該当する金額に○を付け、合計金額をご記入ください。</p> <p>〔 参加費 : 6,000円(会員) / 10,000円(会員外) 〕          〔 情報交換会費 : 4,000円 〕</p> <p>合計 : _____ 円</p>

<送付先>

公益財団法人日本博物館協会 研修係

(住所) 〒100-8925 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館

(電話) 03-3591-7190

(FAX) 03-3591-7170